

写眞を立折る入ら崖なびの難い出を削る 嵐生は主

美術館で30日まで



てきた。6年前には撮影中にクマに襲われて重傷を負ったが、「毎年、毎日違う顔を見せてくれる。仕事に完



角砂糖で作る大月町

現代アート展に20作品

あすまで

【宿毛】大月町小才角の創作・交流拠点COSAで現代アート展が開催されている。角砂糖を積み上げて作られた大月町の町並みや、刺しゅうが施されたス

ルメなど県外の作家や学生らの約20作品が展示されている。29日まで。

角砂糖の大月町は、嵯峨美術大学（京都市）の山本直樹教授（61）が手がけた。約3万5千個を使い、山や風力発電の風車などを築いた。展示室にはまだ並べられていない角砂糖が用意され、来場者は自由に町並みを作ったり、変更できる。

山本さんは「この場所には何があったかな、と作品に参加しながらコミュニケーションを深めてほしい」とし、展示後に取り壊す一過性の作品を「記憶にとどめてもらいたい」と話している。

会場には、ピストルの部品を裁縫でかわいらしく作り、天井からつり下げたユニークな作品も並ぶ。午前10時～午後4時、入場無料。（坂本 出）

↑ 来場者が角砂糖を積み上げて大月町を作るアート作品（大月町小才角のCOSA）